CONSULATE OF THE UNITED STATES OF AMERICA
PUBLIC AFFAIRS SECTION
FUKUOKA, JAPAN

《 講演会のごあんない 》

災害復興支援における NPO、NGO と企業 CSR の役割
～アメリカの経験から～

東日本大震災の復興支援活動において、NPO、NGO、企業 CSR 活動が重要な役割を果たしています。日米を問わず、大規模な自然災害後には住宅、商業活動、公共施設など様々な生活基盤が早期に復旧されることが求められます。こうした災害復興支援活動には、政府のみならず NPO、NGO や企業など様々なステークホルダーによる官民協働が重要不可欠です。

この講演会には「ボランティアとコミュニティサービスに関するノースカロライナ州委員会（NCVOAD）」設立メンバーで、現在同委員会の危機管理ディレクターを務めるフェイ・ストーン氏と、福岡県宗像市の日本赤十字九州国際看護大学の喜多悦子学長のお2人を講師に招きます。ストーン氏にはさまざまなアメリカの実例をもとに、NPO、NGO、企業によるボランティア運営や災害対策・復興支援のための能力強化研修、募金活動、義援金分配の公平性と透明性を保つための方法などについて話してもらいます。今年5月と8月には同大の学生さんたちとともに宮城県でボランティア活動を行った経験を持つ喜多先生には、被災者支援や復興活動において大学や企業、地方自治体などの「団体や組織」やNPOがどのようにすべきかについて、日常からの準備を含め考えを述べていただきます。多数のみなさまのご来場をお待ちしております

2011年10月　　在福岡アメリカ領事館広報部　福岡アメリカン・センター

Ms. Faye Stone

Dr. Etsuko Kita

■日時：　2011年10月21日（金）　午後6時～7時40分

■会場：　福岡アメリカン・センター　電話：092－761－6661

（福岡市中央区天神2-2－67　ソラリアパークサイドビル8階）

■講師と講演トピック：

講師①　「NCVOAD」危機管理ディレクター　フェイ・ストーン氏

『災害復興支援における NPO、NGO と企業 CSR の役割：アメリカの経験から』

講師②　日本赤十字九州国際看護大学　学長　喜多悦子氏

『ボランティア活動の成果と報酬－被災地での経験』

●入場無料／日英同時通訳つき●

◎出席ご希望の方は、別紙ファックス回答用紙（FAX：092-721-0109）、もしくはメール（FACprogram@state.gov）、電話（092-761-6661）で、福岡アメリカン・センターへお申し込みください。【申込締切＝10月21日（金）　正午　担当＝宮内雅之】
◎定員100名に達した場合は、受付を終了させていただきます。なお受講票は発行しません。（申し込み時点ですでに満席の場合のみ、連絡を差し上げます。）

★★★　**FUKUOKA AMERICAN CENTER, U.S. DEPARTMENT OF STATE**　★★★

出席申込用紙　【申込締切　10月21日（金）　正午）】

申込み先：　福岡アメリカン・センター　担当：宮内　　ファックス番号　092－721－0109

メール(FACProgram@state.gov)での申し込み、および代理・同行者の出席も可能です。（先着100名）

2011年10月21日開催　『災害復興支援におけるNPO、NGOと企業CSRの役割　～アメリカの経験から～』

（1）出席者氏名（勤務先・学校名および役職）：

■氏名（よみがな）　　勤務先・学校名および役職

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（　　）

■氏名（よみがな）　　勤務先・学校名および役職

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（　　）

■氏名（よみがな）　　勤務先・学校名および役職

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（　　）

（2）連絡先電話およびファックス番号、電子メールアドレス：

電話＝（　　）　　－　　ファックス＝（　　）　　－

電子メールアドレス＝

（3）通信欄

【講師略歴】

●フェイ・ストーン［ボランティアとコミュニティサービスに関するノースカロライナ州委員会（NCVOAD）　危機管理ディレクター］●

災害時におけるボランティア活動や寄付物品の管理に関しての全米で著名なインストラクター、トレーナー、講師として活躍している。1997年1月からノースカロライナ州知事室のスタッフを務め、1998年より知事室の州危機管理対応チームの代表を務める。寄付物品、個人ボランティア、知事室のバイリンガル情報ホットラインやノースカロライナ州義援金の運営を実施。また全米相互応援協定を通じて、他州で発生した災害地域へも度々派遣されている。また、個人による緊急事態の準備やコミュニティーによる地域再生を促進する団体「ノースカロライナ市民部隊」のディレクターも務め、2006年に発足した同州の災害準備キャンペーン“ReadyNC”では、普及促進計画の立案を担当した。NCVOADの設立メンバーの一人で、災害時における政府、NPO、NGOとの連絡調整役を担う。

●喜多　悦子　［日本赤十字九州国際看護大学　学長］●

奈良県立医科大学卒業後、国立大阪病院、奈良県立医科大学、NIH/NIEHS（米）、国立国際医療センター、中日友好病院、UNICEFアフガン事務所、世界保健機関(WHO)緊急人道援助部勤務を経て、2001年4月より日本赤十字九州国際看護大学教授として教鞭を執り、05年4月に同大学長に就任、現在に至る。1993年7月よりジョンズホプキンス大学公衆衛生大学院で上級研究員、2001-2004年の間、Global Fund　技術評価委員会（TERG）委員、1999から2005年は、早稲田大学大学院客員教授も務めた。エイボン女性大賞、国際ソロプチミスト千嘉世子国際大賞、読売医療功労賞など受賞。著書・論文も多数。ニューズウィーク日本版2008年10月18日号の特集「世界が尊敬する日本人100人」の1人に選ばれた。医学博士。

【会場案内図】

福岡アメリカン・センター　　電話　092-761-6661

福岡市中央区天神2-2-67 ソラリアパークサイド・ビル8階

■警固公園・警固神社の横の「ソラリアパークサイド・ビル」8階です。1階にローソンがあります。

■福岡三越の5階から「アメリカン・センター連絡通路」を通ってご来館いただくのが便利です。